



一般社団法人

ロゴス腹話術研究会

2022年2月22日

会報

第19号

2021年度秋季研修会
開会礼拝説教

神の意志としてのロゴス

春風つばめ

「はじめに言^{ことば}があった。・・・万物は言^{ことば}によって成った。成ったもので言^{ことば}によらずに成ったものは何一つなかった。」

ヨハネによる福音書1章1節から3節に書かれている言葉です。この言葉をご覧になっておかしいと思われる方もあると思います。普通日本語で「ことば」と言えば「言の葉」と書くのですが、「葉」がありません。なぜないかと言うと、葉は朽ちてしまいますが、神様の言葉は朽ち果てない永遠の真理であるからです。そういう説明を聞いたことがあります。「言はロゴス、永遠の真理」ということであります。また会報18号に田口昭典先生は「言はイエス・キリスト、先在のロゴス」という言葉を使っています（ロゴス腹話術研究会会報No18）。イエス様は「私は道であり、真理であり、命である」（ヨハネ14章8節）と言われました。

「万物は言^{ことば}によって成った。」とあります。万物とは宇宙にある、ありとあらゆるものです。たくさんありますが、2つに分けることができます。「もの」と「こと」です。「もの」は、例えば海、山、川、建物、机など、そして「こと」とは、例えば出来事や出会いなどです。

「成ったもので言^{ことば}によらずに成ったものは何一つなかった。」「すべてのものは言^{ことば}によって成った。」とは、この世に偶然、存在しているものは何一つないということです。すべての「もの」や「こと」は神の意志（神意）によって存在しているということでもあります。私たちが生まれてきたのも、神の意志によるのであって、偶然生まれてきたのではないということです。今日このように腹話術の秋季研修会が出来ていること、私たちが出会っていることも神様の意思であるということでもあります。それが神意であるということ、神意によって生きるか生きないかは、本人次第であるということになります。

「真理（キリスト）に従えば力がある、真理（キリスト）に逆らえばなんの力もない」とは、すべてのことは偶然ではないということです。

私は昨日、ここに来るために朝早く出ました。早く着こうと思って出たのですが、大阪の高速の入り口が工事で封鎖されていました。どこから入ったら良いのかわからず、ぐるぐる1時間まわり入り口を探しましたが入れませんでした。約束の時間に間に合わないかもしれないと諦めそうになり、運が悪かったと思ったり、工事を周知していない役所が悪いと腹が立ったりしました。でもこれは私に「強くたくましくなりなさい」という神様のメッセージではないかと考え、とりあえず一端家に帰りました。ルート調べて出直し、無事豊田に着くことができました。すべてのことには必然性があり神様の意思があります。何で神様はこういうことをされたのかと考えることで道が開けるということ、**「真理（キリスト）に従えば力がある」という言葉で示されている**と思います。

人生は「人生 = X × Y」という式で表せます。Xは楽しいこと、うれしいこと、得をすることです。またそれだけでなくYの苦しいこと、悲しいこと、損をすることもあります。両方あっての人生で、どちらか一方だけということはありません。Xがあれば「幸せ」と考えてしまいますが、そんな人生はなく、苦しいこともあっての人生なんです。



昨日は星野富弘さんの展覧会と、トヨタ自動車に連れて行っていただきました。「言のうちに命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中に輝いている。暗闇は光を理解しなかった。」(ヨハネ1章4-5)

私たちは人生のY、苦しいこと、悲しいこと、損をすることは嫌だと思ってしまうのですが、その中に宝が隠されています。家族が亡くなったり、失敗したり挫折したりすることはあるのですが、その中に宝が隠されています。

星野富弘さんは、人生のYの中に宝を発見された方です。首から下が全部動かなくなってしまわれました。これはうれしいことでも、楽しいことでも、得をすることでも全然ありません。悲しいこと、損をすることだし、辛いことだったと思うのですが、それがあったから星野富弘さんになっていらっしゃる。星野富弘さんは人間を照らす光とも言えます。Yの中に宝を見つけられたから、たくさんの人たちを励ましたり勇気を与えていらっしゃるのです。

またトヨタ自動車にも連れて行っていただきましたが、そこではラリーとって苛酷な状況に車を置き、それによって技術を磨くのだと教えていただきました。過酷なこと、苦しいことに身を置くから、あのように立派な車の技術が確立されたのだと思います。

私は、ロゴスの会員としてみなさんから励まされ、勇気をいただき感謝をしています。それはみなさん、おひとりおひとりが人生の苦しいことを乗り越えて、星のように輝いていらっしゃるからだと思います。

自らの人生のYの中に宝を発見することができれば、人々を照らす光となることができる。そんな腹話術ができれば、素晴らしいと思います。

(日本キリスト教団島之内教会牧師 木戸定)

2021年度 秋季研修会・技術認定会

去る2021年11月23日火曜日(祝日)、愛知県豊田市福祉センターにて開催しました。幸い新型コロナ感染の勢いも小康状態にあった時期で、人と直接会って話をする喜びと意義をあらためて感じ、良い学びの時間となりました。

とんぼ先生の講話をはじめ、春風の模範演技、練習方法の伝授などがあり、たいへん参考になりました。地元の豊田グループのみなさんが周到な準備をしてくださり、また思いがけず会員でない方々のご協力もいただき感謝でした。地元の新聞(矢作新報社)の記者の方もご来場くださり、後日一面にロゴス腹話術研究会の紹介の記事を出してくださいました。

【日時】2021年11月23日火(祝) 【会場】愛知県豊田市福祉センター

【プログラム】

開会礼拝/木戸定牧師(春風つばめ)

『みんなで腹話術』/

理事長あいさつ/野田めぐみ

リーダー:春風テツテル

春風模範演技/

講話「ロゴスの腹話術を極める」/

春風ひすい、春風たみ子、春風笑美子

春風とんぼ

技術認定会



当日の様子(豊田グループ)



当日の様子（春風つばめさん）



2021.12.3 『矢作新報』

春風模範演技

春風ひすいさん「今だから金次郎」、笑美子さん「ストップ！特殊詐欺」、たみ子さん「お口の体操」の演技披露がありました。本誌では、QRコードから当日の演技の一部を視聴できるようにしてありますので、ぜひご覧ください。

ひすいさんは、二宮金次郎（尊徳）の有名な言葉「積小為大こつこつ」についてケンちゃんと話題にしてくれました。コツコツやり続けることが、やがて大きなものとなり、成果を生むという意味だそうで、大いに励まされました。笑美子さんは、深刻な社会問題である特殊詐欺に遭わないようにする方法を、えいとくんと楽しく語ってくれました。そしてたみ子さんは舞台上上がるまでも、ケンちゃんと言葉ではない良好なコミュニケーションがあり、笑顔と大きな口での元気な会話は、まさに基本に忠実な模範演技でした。この3人の師範の方たちの楽しく生き生きしたお人形の動き、台本構成など、学ぶことがとても多い時間でした。熱演を、どうもありがとうございました。



「今だから金次郎」
春風ひすい



「ストップ！特殊詐欺」
春風笑美子



「お口の体操」
春風たみ子

技術認定会 講評

技術担当理事 春風とんぼ

よくぞ辛抱強く、この日が訪れるのを待ち続け、技術認定会という緊張に立ち向かって下さったことに強い、強い感銘を受けました。

世界的に大流行している新型コロナは、次々と病気の「株」を変更して襲いかかって来るので、対応と防止する上で技術を示して行くことは大変難渋の連続であったかと思えます。受験者は勿論のこと、地域の指導者に、まずもって敬意を表します。

2021年6月12日に当初予定されていたこの大会は、新型コロナに押しまわられて半年有余延期されて来たわけですから、気苦労は計り知れませんでした。この意味でも、結論から申し上げて、見事合格おめでとうございました。

兵藤敏子さん 師範

ロゴスの豊田が総がかりで「見事」師範を射止めてくれました。台本をふくらませる。演技をどの角度から見ても育て上げている。豊田が育て、ご家族が育て上げた逸材です。同級の仲間が何人かおられますので、この伸長の方法、内容、みんなで育てたという誇りをまねして続けてくれることでしょう。大規模な天城で披露しても遜色のない出来上がりだったと審査をする立場からも喜ばしい限りです。芸名披露感謝の会も、新型コロナのお陰で、またのびのびになりそうですが、もう実力で勝ち取った師範の座を、お休みの間に積み上げていってください。どんな芸名を提出してくるかも楽しみです。新たに、先輩のたみ子師範、赤とんぼ師範と共にロゴスの輪を広げて下さい。



◀実技動画はこちらから

長井泉さん 三級

ロゴス富士の春風テレサ師範が苦勞して産み出したすばらしいひよこです。東京にお住いの長井さんを富士に招いて卵を産み落とし、磨きをかけてきたと思います。「ロゴスの基本」と言い続ける私どもに対して、どれだけ迫って来ることが出来るか、待ち受ける私どもも心臓がどきどきでした。観衆みんなが応援団になって、築き上げてきた技を楽しみにもしました。素人でも楽しく出来るロゴスの腹話術は、口が動かない工夫、どれだけ笑顔で入場できる度胸が養われているか、果たして声がちゃんと出てくれるか、数えればきりがありませんが、百点満点とはいかなくとも、そして先輩たちには若干の不満がありましたが、見事三級の座を射止めてくれました。後は出演回数が完成へ導いてくれます。テレサ師範と共に関東地方を喜ばしてください。



講話 「ロゴスの腹話術を極める」

春風とんぼ



演技をする時、**正面に向かって45度**に座ります。お人形がお客さんと真正面で話しますと、相手に圧迫感を与えるといわれます。営業で働いていた時、どうやって座るかを学んだことがありました。注文が取れる姿勢は45度という結論になりました。

今日、たみ子さんがやってくれた「お口の体操・のどの体操」ですが、『腹話術のすべて』の中には「顔の体操、のどの体操」が書いてありますね。最近マスクをしたままで相手に伝わる方法があることを知りました。それは、**大きな口でゆっくりしゃべる**ことだそうです。ま

さにロゴスです。私の出ているデイサービスでやっていることも、誤飲予防、脳活性化、認知症対応などまさにたみ子さんがやってくれた、大きな口を開けることです。スチュワーデスやデパートの接客係、NHKアナウンサーも発声の練習に用いています。今、私たちは一生懸命、マスクして唾を飛ばさないようにやっていますが、ただ、しゃべっても相手に伝わらなければ何にもなりません。

老人で一番困るのはむせることです。誤嚥性肺炎の原因の一つになるだろう…とされています。大きな口を開けてゆっくり話すことは、顔と喉の筋肉を働かせます。大切なことです。ロゴスの**口の開け方の練習は「う・お・あ・え・い」**です。『腹話術のすべて』を見るとそう書いてあります。私は今でも「う・お・あ・え・い」の練習を、目が覚めたらベッドの中でまず始めますが、筋肉

がよく動きます。そういう練習をやって、誤嚥性肺炎の予防の口腔体操をします。50年前、東京の浴風会病院で考案され、今では全国の施設でも利用されています。

以前、名古屋の郊外に結核療養所がありました。今は老人研究施設になっていて、そこの先生方が書かれた文献を見ますと、口を動かす運動が圧倒的に勧められています。その理由は誤嚥性肺炎を防止するためです。ロゴスで教える「う・お・あ・え・い」、「あ・い・う・え・お」でも良いですが、それが誤嚥性肺炎を防ぐ大きな力になります。喉から外へ「う・お・あ・え・い」とやってみましょう。

「誰がなんと言っても型にはめ込む」と配布資料に書きました。ロゴスには型があります。さっきテッテルさんがやってくれた9パタもそうです。人間の頭が吸い込む力は三つと言われているので、三つにしています。**ステップ1の三つ**。何でしたっけ？スラッとさえないと「あーあ」です。まず腹話術の基本で、**笑顔で入ること**。笑顔はどうして作るかというと、鏡を見ることです。あなたは一日に何回鏡を見ますか？10回見て下さい。笑いは伝わります。演者が笑うと観客も釣られて笑います。無理に笑わせず。手っ取り早いのは**自分が笑うこと**です。営業で色々な場所に行く時は、まず笑顔でした。そして二つ目は**明るい声かけ**です。「こんにちは。お世話になります」と言います。そうすると「君はいつもにやにやしているね」と言われました。「にこにこですよ」と言い返しました。舞台には笑顔でにっこり入ります。一番最初笑う、そして明るい声かけです。三つ目は目線、まなざし、柔らかい目と目のかよいです。

私は今、行っているデイサービスにはわざと5分遅れていきます。認知症の女性でいつも怒っている人がいます。その人に「かよちゃん、おはよう」と声かけると、初めは怒っている様子でしたが1か月経ったら笑ってくれるようになりました。調子悪い時は笑いませんが、「かよちゃん、またね」と言ったら、「さいなら」と言ってくれました。ロゴスのこういう型が知らないうちに笑う方向に向かうことに確信を持っています。

ステップ1はまず笑顔でしょ、2番目は明るい声、さて3番目は目線と言っていました、聖書には「主のまなざし」と書いてあります。**優しいまなざし**です。

腹話術の9パタ「○ケンちゃん、×ナア二、○あのね、×ウン」って何ですか？何だろうこれ。**通い**です。通いなんです。さっきのかよちゃんは車イスを使っているんですが、私は近寄ってしゃがみます。目の高さを合わせます。「かよちゃん、おはよう」。最初こそ「何、この変な人」という感じでしたが、次第に笑うようになった。名前を覚えて、「○○さん」と呼びかける。それは目線の合った通いなんです。9パタには力があります。お人形のまなざしがあなたの所に通えば、必ず話は届きます。6ページの9パタを参照してください。

「笑い」、これはね、**台本**なの。台本を見て笑いを研究します。頭の回転をよくするために、3つのことがあります。まず**書く**、それを必ず**声に出して読む**、そして**推敲**する。繰り返し読んで新しい言葉がないか、文章がないか考える。

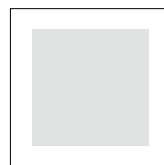
下手であっても、まず書きます。私は色々な所に文章を書いて投稿しています。最近、弥生時代の新聞記事というエッセイを書いたの。その頃新聞なんてなかったわね。そうしたら読んだ人から「加藤さんの面白かった。」と言われました。書いていると面白いことがどんどん浮かんでいきます。9パタ、台本とが合わさってロゴスの腹話術は出来上がるんです。技術認定では、今後こういう台本の審査もやっていったらどうかと思っています。

新約聖書で最初に出来たのはマルコによる福音書ですね。**マルコの1、2、3**は、人形を動かすための一番の基本です。「そんなに、夜、遅くまで、何をしていたのさ、ケンちゃんは」私は師匠からセリフは短くしなさいと教えられましたが、長い台本を作られた師匠は、それをきちんとまとめる力（ことば）を持っておられた。それがマルコの1、2、3です。

まず人形の顎出しをして「そんなに」、顎を引いて「夜」、顎を左に「遅く」右に「まで」、ぐるりと一周「何をしていたのさ」、顎出し「けん」、顎出し「ちゃん」、顎出し「は」となります。頭の芯のてっぺんは動かさず、人形を操作します。

台本のルビを振るところには「強く」「弱く」「早く」「遅く」を書きます。下の空白には「ゆっくり」とか書き込みます。打音はお人形の口を開ける回数を示します。A打音は1回、B打音2回、C打音3回です。これも台本に書き込んでください。

1 ほぼえみ笑い、2 声かけ、3 柔らかいまなざし。9パタ、マルコ1、2、3、台本…そういうものが基本になってロゴスの腹話術は出来上がっています。この基本を繰り返ししていただきたいと思います。ご自分のロゴス腹話術にしてください。



▲演技動画はこちらから

次回総会・研修会・
芸名付与感謝会 日程

日時：2022年5月27日（金）

会場：グリーンパレス春日井

〒486-0817
愛知県春日井市東野町1-2



(絵：春風赤とんぼ)



元気な腹話術をする為には、身体をほぐしてやる事が良いのではないのでしょうか？

私たちのグループでは、「さんぽ」の曲に合わせて身体を動かすようにしています。

あるこう あるこう わたしはげんき
あるくのだいすき どんどんいこう
さかみち トンネル くさっぱら
いっぽんばしに デコボコじゃりみち
くものす くぐって くだりみち

さんぽ（となりのトトロ）の手話の振り付け
実技動画はこちらから▶

腹話術をして30年くらい経ちますが、出来ない事、分からない事が沢山あるんですね。そういう時、『腹話術のすべて』に立ち戻って、何ページに書いてあるかな、こんな事をイチロー師匠はおっしゃっているなと思いながらやっています。足りないながらも努力すれば変化が起きるだろうと取り組んでいるところです。では、みんなで腹話術を考えてみましょう。

3. 9パタ

9パタは、①術者が人形を見る、②人形が術者を見て向かい合う、③術者が正面を見る、④人形が正面を見る事です。（左写真で示します。）

①人形の耳のあたりを見て、②向き合います。向き合う時も少しまばたきしているかどうか見ます。ゆとりがあったらやってみてくださいね。③それからお客さんの方を見て、④人形もお客さんを見ます。

術者が人形とだけの会話になったり、またはお客さんばかりで人形そっちのけになったとしたらいかがでしょう？ つまらないと思うんですね。人形に話す時間と、お客さんに話す時間どのくらいでしょう？ 人形と接するのが6割くらいが良いと思います。

ロゴス腹話術は「言葉」を大切にしています。対象は小さい子どもさんからお年寄りの方々まで色々です。術者（まずは自分自身）が人形との通いを楽しく演ずることができるようにしたいと思っています。

1. 笑顔

人形を持ったら、「これからやるんだ！」と笑顔になります。そうするとその場、その雰囲気のを和ませる事ができると思うんですね。術者がニコニコしていないと、どうしてもつまらない、そんな事を思います。

2. 大きな口で（胸音）・

ニッコリチーズで（頭音）

術者は大きな口を開けます。大きな口を開けて、しっかりと発音をするという事ですね。何を言っているかわからないと人には通じません。口をしっかりと開けて発声する、その事が大事だと思います。それが「胸音」です。それから人形がしゃべる時になったら、ニコニコとした「チーズのイの口」になります。しっかりと口を固定して声帯を動かす事（「頭音」）が大事です。

口が動いてしまうと、「ああ、なんだ。術者がしゃべっているよ」と思われてしまいます。大きな口（胸音）と人形の口（頭音）の落差でもって、人形がしゃべっている時に術者がしゃべっていない、「ああ、良い腹話術だな」とか、「誰がしゃべっているのかな」となるわけです。小さい子どもが「中にロボットが入っているの？」となります。そんな事言われたらうれしいですね。

①



○ ケンちゃん
（術者は人形を見る）

②



× ナアニ
（人形が術者を見る）

③



○ あのねえ
（術者正面を向く）

④



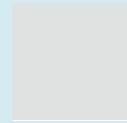
× ウン
（人形も正面を向く）

お口の体操・のどの体操

春風たみ子



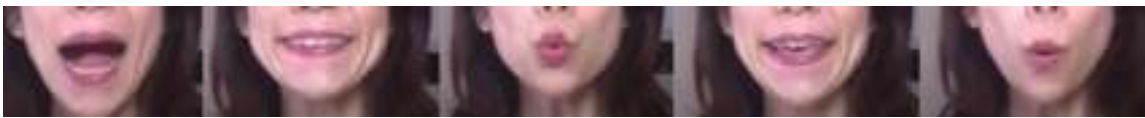
腹話術の発声、ウォーミングアップのために、お口の体操・のどの体操を練習します。年齢が上がると活舌が悪くなります。喉の筋肉が弱ってくると誤嚥性肺炎にもなりがちです。それを防ぐためにもこの口・のどの体操はとても大事です。



▲実技動画はこちらから

1 発声

口を「あ」の字に開けます。一番大きいお口です。「い」の字です。口角を真横に開けます。「う」の字はおちよほ口ね。「え」はその人の一番かわいい顔です。「お」は喉の奥から出してください。「あ」「い」「う」「え」「お」



(Youtube「小柴真由美の伝わる話し方レッスン」より)

2 ほっぺたの運動

「だるまさん、だるまさん…あっぷつぷのぷ」の顔です。「ぷ」ほっぺを膨らませたのを吸ってへこませてください。「ぷ」の顔とへこませるのを3回繰り返します。ほっぺたを動かすことはなかなかできません。次はほっぺたの空気を右、左と動かしていきます。



3 舌の運動

舌を思いっきり外に出します。「あっかんべー」の舌です。どうですか？舌の奥の方がじんと熱くならないですか？鏡を見ながら舌を出すことは良い運動になります。

舌を口角に付けるように右、左に動かします。右、左、右、左…と早く動かしていきます。



(京都市ホームページ、「お口の体操」より)

舌を上唇、下唇に付けるように動かします。「上、下、上、下……べロベロッ、パツ」最後「パツ」と言います。とても力がいらいます。良い運動になります。「こういうことやると良いですよ」と聞いても、家でなかなか出来ませんよね。腹話術の発声練習も一日3分、5分と言っても出来ないのですが、でも毎日やってもらいたいです。

4 のどの体操「がらがら」

これはのどの筋肉を鍛える一番大事で総合的な運動です。口に水を含んでやるうがいです。うがいはほっぺた、のどの筋肉を動かすのにとっても良い練習になります。また口の中の横にも縦にも水を動かしていきます。唇をしっかりと閉じてやるので唇の運動にもなります。

歯みがきをして口をゆすぐ時にやると、忘れなくて良いですよ。毎日気軽にできるもので、ぜひやってみてください。もちろんウイルスが入る予防にもなります。



会員近況

野田健一（アメリカ、カルフォルニア州在住）

「春よ恋い、早く恋い」と歌い、春を待ちわびていたら、あっという間に通り過ぎようとしています。緑は日ごとに深まり、我が家の草花達も主役を変えながら、次の季節へと衣がえです。毎日野菜や花に水を与えていると、生き生きと、力強く、活力が湧いてくるのが分かります。神様は必要な時に、必要な雨を無料で与えて下さいます。

天を見上げると、地上では想像もできない、満天の星が、美しく互いに競い合い、譲り合い、平和で美しく光り輝いており心が癒されます。

それに比べ、地上では武漢から感染症の世界的大流行が始まり、早2年が過ぎます。収まるどころかどんどん変異株が生まれ、アメリカでは、死者80万人とか聞き唖然とさせられます。色々な国の人間の愚かさ、貧欲さ、汚れがあります。あー、神様お許し下さい。神様が宇宙も、地球も、月も、星も、四季も、空気も、草花も、人間に必要な物、全て無償で下さっているのに、神様に感謝の一言もなく…。

こんなことを思い起こすと腹が立ってしまいますが、私も87歳で、年齢と身体を考えて余生を穏やかに感謝、感謝で暮らしたいと思う今日この頃です。自分に言い聞かせていることがあります。「気は長く、心は丸く、腹を立てず、己は小さく、他人は大きく、一つ一つに感謝して有難うの言葉を肝に銘じて、生かされたい」そう思っています。

ロゴス腹話術研究会会員の皆様、お元気で腹話術の研鑽に励み、精進なされている事とお察します。

ロゴス腹話術研究会会報を、楽しみに感謝して大切に拝読させて頂いております。会報の中で、牧師先生方の説教は、私達の心に響き、癒され、心が洗われ、祝福され、力が泉の様に沸き上がります。

田口昭典先生の会報18号の「十字架で命を注ぎ出し、復活して今も私達と共に歩んで下さる事を信じる時、私達の恐れはなくなります」

この御言葉を頂き、今の世界情勢を考えた時、全てを神様に委ねようと力付けられ、前向きに歩むことが出来ることが感謝です。説教の中で愛の字が9回出てきました。いかに愛が大切かを学びました。

春風とんぼ先生の会報17号、聖書「汝の敵を愛せよ」の文中にも愛の字が5回記されております。愛は人間と切り離せない御言葉であることを学びました。

「汝の敵を愛せよ」の御言葉で、思い出したことが有ります。私は、現在米国、カナダ、ブラジル国誠流詩吟連盟の理事長（会員500名）をしておりますが、会員で高慢、傲慢権力者の悪魔がおり、会を乱し大変な時期が有りました。「汝の敵を愛せよ」主の祈りの、「我らに罪を犯す者を我らが許す如く、我らの罪をも許したまえ」を心に刻み、その者の為に祈りました、はじめはその者に怒りが有る為、中々祝福の祈りが出ません、でも思い切り祈りの一步を踏み出した時、後はすらすらと祝福の祈りが出てきました、毎日祈り、半年後日本で活躍しているご宗家から電話が有り、「彼は今迄悪魔の働きをし、会を乱したことを謝りたいと言っている。ついては顧問の皆さんに会わせてもらえないか」との依頼でした。そして彼は自分の罪、今迄の事を悔い改め、幹部の皆様心に心から謝りました、神様は今でも生きておられることに心打たれました。

釜土達雄先生のお話は興味を持って読ませていただきました。一期一会の縁を大切にしたい人々、それぞれ異なる出会いが有り、歴史がある事を、偶然ではなく、全て、神様のご計画の中に有る事を感謝した次第です。

ここまで色々書いて思い出したことが有ります。

野田市朗牧師がアメリカの各地で伝道集会を開いた時の説教の中で、幾ら、信仰生活が何十年と長くても、そこに、愛が無ければ、アンパンの中にあんこがないのと等しいと述べておりました。

お互い心の底から尊敬し愛、お互い心の底から愛し愛、祈り愛、助け愛、励まし愛、譲り愛、許し愛、支え愛、互いに心から悲しみ愛、互いに心の底から笑い愛ながら。

野田牧師が、1965年アメリカの地で、ラジオ伝道を致しました。人形ケンちゃんはラジオ伝道でも一緒でした。

当時アメリカには、英語伝道はありましたが、日本語のラジオ伝道はなく、日曜日の朝は、ラジオを聞くのが日系人の唯一の楽しみの一つでした。こうした小さな伝道の積み重ねが、アメリカの地で今、大輪の花を咲かせたのです。

この世界の難局の時だから、愛の大切さを見直し、愛の賛美を声高らかに歌いつつ、感謝して、愛を噛み締めて、歩んで行きたいと思えます。



在りし日の奥さま英子さんと結婚50周年の船旅で。

〈編集後記〉

やはり人は、直接会って交流するところから多くを学びます。昨秋、久しぶりに研修会が開かれたことは本当に感謝でした。ご参加できなかったみなさまとも内容を共有したく、本号を作りました。提示した当日の動画は、短いながらもその中に演者の長年の工夫や研鑽が凝縮しています。ぜひご覧いただき、日々の練習や実践の場で生かしてください。次の総会・研修会は5月27日（金）を予定しています。諸条件が整いみなさまとお会いできますように。

発行：
一般社団法人
ロゴス腹話術研究会 事務局

〒211-0005
神奈川県川崎市中原区新丸子町734-1
アベニオ新丸子ビル402号
TEL：044-733-6650 FAX：03-6868-3638
メールアドレス：harukaze@logos.or.jp
ホームページ：https://logos.or.jp